

2024 年度 東京日英学院 自己点検・評価報告書

1. はじめに

日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号に基づき、本学の教育活動および運営状況について、2024年度の自己点検・評価を実施いたしました。本報告書は、教育水準のさらなる向上と日本語教育機関としての目的達成を目指すためのものであり、その結果を公開いたします。

2. 点検・評価の概要

(1) 点検・評価の目的

日本語教育機関の告示基準への適合状況を確認し、改善点を明確にする。
教育の質、学生支援、学校運営等の現状を客観的に把握し、教育水準の向上に資する。
評価結果を組織内で共有し、次年度の教育計画や運営方針に反映させる。

(2) 点検・評価の期間

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

(3) 点検・評価実施体制

実施責任者: 校長 泉岡春美

実施日: 2025年6月1日

実施方法: 各部門による自己点検チェックリストへの記入、教職員会議での意見交換、校長による最終確認および承認

(4) 評価基準

以下の3段階評価を基本とします。

A: 達成されている - 基準を満たし、良好に実施されている。

B: ほぼ達成されているが、改善の余地がある - 基準は満たしているものの、一部改善が必要な点がある。

C: 達成に向けて努力中／改善が必要 - 改善が必要な点がある。早急な改善計画を策定し、実施する。

3. 点検・評価項目及び所見

項目		点検	評価
(1) 教育の理念・目標	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	✓	B
	その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	✓	B
	所見		
	「本学は、外国人に対する日本語教育を行い、相互理解の深化を図り、もって国際交流の発展に寄与すること」を目的とする。2024 年 4 月より開始された認定日本語教育機関の制度を機に見直しを行っている。		
項目		点検	評価
(2) 学校運営	日本語教育機関の告示基準は満たしているか	✓	A
	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	✓	B
	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	✓	B
	所見		
	例年どおり役員が中心となり、告示要件を常に管理し、告示基準の各種報告についても遅延なく対応している。また、各種規定についても、引き続き教職員が常時確認できる環境を維持している。		
項目		点検	評価
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	✓	A
	学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	✓	A
	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となり、運用されているか	✓	A
	教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか	✓	B
	所見		
	本学が定めている課程を例年どおり実施している。課程及び課程目標等は、学期ごとの教員会議において、主任教員が説明し、全教員が共通認識をもった上で運用している。研修として外部の講習等を取り入れ、指導力の向上、教育課程の見直しを図っている。		
項目		点検	評価
(4) 学修成果	学生の日本語能力の向上が図られているか	✓	A
	学生の日本語能力が機関の定める到達目標に達しているか	✓	A
	学生の進路を適切に把握しているか	✓	A
	所見		
	適正なクラス編成や課程に則し、目標の到達に努めている。また、ポートフォリオ、発表、模擬面接等の評価の導入を 2025 年度より試験的に開始する。学生の希望進路は面談等、決定進路は書類の確認及び写しの保管等で把握している。		

項目		点検	評価
(5) 学生支援	学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	✓	A
	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	✓	A
	防災や緊急時における体制が整備されているかといった観点	✓	B
	所見		
	新入学生には生活相談、在校生には進路面談を定期的実施している。健康管理については、年に1回職員引率のもと受診をしている。緊急時の連絡体制については、教職員、学生ともに整備している。		
項目		点検	評価
(6) 教育環境	日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	✓	A
	教材は適切か、学習効率を図るための環境整備がなされているか	✓	B
	所見		
	モニターやプロジェクトで授業が展開できるよう設備環境を整えている。ICT活用の促進を鑑み、電子黒板や在籍管理システムの導入を予定している。		
項目		点検	評価
(7) 入学者の募集	入学者の募集は適切に行われているか	✓	A
	募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	✓	A
	授業料等は適切か	✓	A
	所見		
	問題なく実施できている。授業料等について、2021年4月の値上げ以降、改定を見送ってきたが、諸経費の高騰により改定を検討している。		
項目		点検	評価
(8) 財務	中長期的に財務基盤は安定しているか	✓	C
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	✓	A
	財務について会計監査は適切に行われているか	✓	A
	財務情報の公開の体制はできているか	✓	B
	所見		
	前期に引き続き、資産状況は改善が見られるが、コロナ融資の返済はまだできていない状態である。年度開始時に作成する収支計画とほぼ乖離がなく、税理士監修のもと決算を確定している。		
項目		点検	評価
(9) 法令遵守	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を行っているか	✓	A
	個人情報の保護の取組を適切に行っているか	✓	A
	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	✓	A

(9) 法令遵守	所見		
	各種法令の遵守を徹底している。個人情報に関しては、セキュリティ機器の設置、また人為的な漏洩がないよう日々、注意喚起や指導を実施している。自己点検及び評価は、日本語教育機関の告示基準に基づき、遅延なく実施している。		
項目		点検	評価
(10) 地域貢献 社会貢献	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか		✓
	所見		
	地域交流については、コロナ禍以前に比べて積極的に行われているとはいい難く、促進していく必要があると考えている。日本語教育機関の施設の利用としては、教育実習生の受入校として大学と提携している。		

4. 総括と今後の課題

コロナ禍のような混乱もなく、前期に続き、定員近くの学生を受け入れることができ、収益を上げることができた。各点検項目についても、とりたてて問題はなく 2024 年度の運営ができたと感じている。

2024 年 4 月より認定日本語教育機関の制度が開始され、各項目の見直しが必要であると実感している。認定日本語教育機関の申請に向け、より一層教育水準の維持向上に努め、質の高い日本語教育を提供できるよう、教職員一同、尽力してまいり所存である。

5. 公表方法

本報告書は、本学の公式ウェブサイトにて公開いたします。

東京日英学院 公式ウェブサイト <https://www.tokyoje.com/>